収監された服部技師

犠牲者四名のみで

偽印事件は他に發展せぬ？

神戸地方裁判所檢事局では取調中であつた川崎造船所偽造印鑑事件の關係者である川崎造船所兵庫分工場技師服部茂平、同北村政敏、同工場職工北茂平、石橋善吉の四名に對し、收賄偽造行使の嫌疑に依つて、神戸區裁判所に收監したが當局は「何分狂犬のやうに喊かれて居るので總てに何事も申上げられぬ」と何事も言明を避け居るが、且つ下の噂では右四名が所謂事件の犧牲となつて他に發展波及を食ひ止めるものと語つた

衆議院の速記者

二十三名同盟休業

優待の建議に對する議長や記官長等の態度を憤りて

速記課は大狼狽

衆議院の速記者が中心となつて組織する速記組合では、衆議院に對する從來の惰性的態度に多大なる不滿を抱いた結果、愈々三月十五日を以て同盟休業をなすことに決し、その旨を衆議院當局に通告して置いたが、當局では之れを默殺して顧みざるのみか、却つて速記者の中心人物たる小島、屋敷、森田、伊内、江北、柳澤、金子の七名を除く外悉く同盟休業をした、之が爲め速記課では非常に狼狽し、今朝の委員會に大縮小を來すこととなり、速記關係の從事者が、大體に於て增減を差引き、各兵科の中小隊竝に中隊附將校併せて約一千五百餘名の縮小となる勘定であるが、速記の事情から押して總同盟休業の擧に出でたものゝ如くである

異動

縮小

速記課は大狼狽

衆議院の速記者が中心となつて組織する速記組合では、衆議院に對する從來の惰性的態度に多大なる不滿を抱いた結果、愈々三月十五日を以て同盟休業をなすことに決し、その旨を衆議院當局に通告して置いたが、當局では之れを默殺して顧みざるのみか、却つて速記者の中心人物たる小島、屋敷、森田、伊内、江北、柳澤、金子の七名を除く外悉く同盟休業をした、之が爲め速記課では非常に狼狽し、今朝の委員會に大縮小を來すこととなり、速記關係の從事者が、大體に於て增減を差引き、各兵科の中小隊竝に中隊附將校併せて約一千五百餘名の縮小となる勘定であるが、速記の事情から押して總同盟休業の擧に出でたものゝ如くである

機業工賃値下げ

府で泉南のを認めた爲め全般に引下げ實行か

綿絲の漸落に依る機業者の打擊事に決定した爲め職工の動搖を益々著しく現在の如きは職工賃金を除いても小巾もの一疋に就いて十錢宛の損を見て居る此の損を見越して今

一箇月

も事業を繼續して行く時は機業家は何れも工場の閉鎖を見ねはならぬので特に機業家の多い府下泉南郡では過日來寄々協議を重ねて居た其の結果遂に工賃金を二割方低下する

東員淘汰決す

全區を通じて五十二名

名古屋の「冗員整理」は豫て山口關東課長の手許に於て調査中であつたが、十七日正式に其の手續をとることになつた而して淘汰された人は（一部分）六、西區六、南區十一、同巡査六十二名の内合計五十二名

大電本社の裏で狼火を揚ぐ

營業所五百人の大示威

格鬪起り遂に三名檢束

大阪市北區天王寺筆ケ崎電業員合して氣勢をあげてゐる所へ幹組合本部に於ては大電當局が「他職工の能率を害する」の名に於て勞働運動を全然否認し「更てるうち八時半頃に至るや職工四五名が

突嗟の

間に薪を高く積み上げこれに點火して烽火をあげ萬歲を叫んだので大電本社は騷き技師長以下飛出し火を消せと叫ぶも誰一人命に服する者なく險惡の狀を呈せる折柄川口署の警官二十名急報に接して臨一致團結して會社に當るべく宣傳する爲め勞働歌を高唱して出た

中之島營業所五百名の組合員は午前七時大電本社の裏廣場に集つてゐるが同盟會理事は四月二日の大會議題を決定する前にこれに對して協議をなすこと勿論ふが或は電業組合全部總同盟に加入するかも知れない

二時三名放還

川口署に檢束された電業員組合幹部三名は同署長から「勞働運動は須らく正々堂々とやつて貰ひ度い」と說諭され之を承知して二時一寸放還された

氣勢を

十名審問

川崎造船所爭議行公判

川崎造船所偽造印鑑事件の續行公判は十六日午前十一時から神戸地方裁判所の大法廷で開廷被告四十九名同じく之れに對する辯護人の出廷するこゝ前日通り傍聽人を制限するため前日百名に限り傍聽券を出したので法廷は左程混雜せずこの日は

西田隆義、大内眞藏、管藤夫、三宅喜三郎、花田寅十郎、高橋忠一、工藤盛大、唐川弘、白江與之助、正垣亮治、宇野金重（以上當時の最高幹部）安達謙六、石田一郎、三宅清次、伊豆倉留次、岩門幸太郎

の十名に對する審理があり午後一時休廷午後二時引續き開廷にて殘餘の審理があつた